

出席者 (視聴覚室) 吉田委員・濱田委員・前田委員・長瀬委員・  
学校長・板東教頭・多田教頭・角課長・井上奈・茅野  
(オンライン) 川上委員・川原委員

#### 会次第

##### ○学校長あいさつ

宮本学校長があいさつ。本年の進路状況など。

##### ○今年度の学校運営について

板東教頭が説明。各学期の行事等、今年度の学校運営について具体的に説明。重点目標4つについての、学校評価の結果を説明。

##### ○次年度の学校運営について

宮本学校長が説明。スクール・ミッションや教育目標、ラグビー発祥の地の高校としての本校のPRなど。

##### ○協議

ア 学校評価に関連して、生徒への進路指導は個人の多様性に合わせて行うことが望ましい。SSH事業における探究活動を始めとして、校内外で多くの活動経験・実績がある。それは入試にも生かせると思われる。

イ 単なる家庭学習の時間量だけでなく、生徒の学習が自律的なものになるように、課題を与えるのではなく、自分で設定することや、学習方法の交流などを図ることが望ましい。

ウ ポスター発表などで見ると、プレゼン能力が非常に高い生徒が少なくない。もっと全国大会など、発表の場を増やしてはどうか。

エ ラグビー発祥の地の高校として、ラグビー部の活性化を図ることは、中学校で進められている、部活動の地域移行とも連携できるのではないか。ただ、地域が広範囲になるため、移動や送迎の問題など、課題もある。

オ 生徒が自律的な学習の姿勢をもつためにも、キャリア教育は重要である。地域の行政職を始めとして、地域で働くことにも理解が広がる取り組みが期待される。